

< あなたの治療について >

消・外 - T-DXd - 胃 - q3w

今回の治療は、T-DXd という治療法で、エンハーツ（T-DXd）という注射薬で治療を行います。腫瘍の増殖を抑えるお薬です。

◎ 治療全体の流れ

今回の化学療法は3週間が1コースとなっています。各コースの1日目に点滴を行います。この治療を3週間（21日間）ごとに繰り返します。副作用が強く出たり、体調がすぐれない場合は回復するまで、治療を延期したり、お薬の量を減らしたりすることがあります。

◎ 1コース分の治療スケジュール

順序	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	1日目	2~21日目
①	グラニセトロン デキサート (吐き気止め)	点滴 約15分		お休み
②	エンハーツ (抗がん剤) 6.4mg/kg	点滴 初回 約90分 2回目から 約30分		

★ 点滴中や点滴後に、注射部位が痛い、赤くなってはれる、水ぶくれができる、ただれるなどの症状に気づいたときは、すぐに申し出てください。また点滴中は、腕を動かすことにより針がずれ、点滴漏れが生ずることがありますので気をつけて下さい。

◎起りやすい副作用について（頻度 20%以上）

エンハーツによる

- 白血球数減少、好中球数減少、血小板数減少、貧血
- 悪心、嘔吐、食欲減退 ●下痢 ●疲労、倦怠感 ●脱毛症

◎特徴的な副作用について

エンハーツにおける

- 間質性肺疾患

「息切れ、息苦しい、咳、発熱」などの症状

- 心障害

「動悸、胸の痛み、血圧低下、脈が遅くなる、脈がとぶ、脈が速くなる、冷汗が出る、手足が冷たくなる、めまい、立ちくらみ、顔面蒼白（そうはく）、気を失う、意識の消失、むくみ、体重の増加、発熱、体がだるい、疲れやすい、咳、痰、呼吸がはやくなる、息苦しい、息切れ、息をするときゼーゼー鳴る、横になるより座っているときに呼吸が楽になる」などの症状

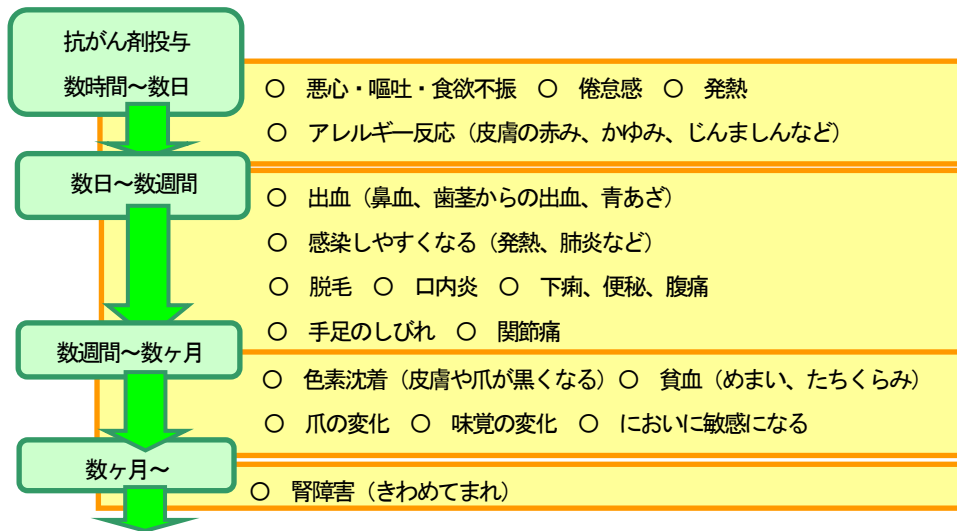
*上記症状が現れたときは、必ず医師・看護師・薬剤師にご相談下さい。

◎副作用の発現時期の目安

*この図は、今回用いられている抗癌剤による副作用だけでなく、他の抗癌剤によって起こる副作用も含まれています。

これらの副作用がすべてあらわれるわけではありません。

また、発現する時期や程度も抗癌剤の種類や患者さんの体質により個人差があります。



◎副作用の対策について

★吐き気・嘔吐、下痢と便秘、口内炎、感染症、出血、貧血、脱毛などの副作用の対策について知りたい方は、資料をお渡しすることができますのでお申し出下さい。

◎薬品毎の副作用について（添付文書における重大な副作用を製薬会社作成「薬のしおり」などから抜粋）

まれな副作用ですが、この様な症状が現れた際には医師・薬剤師・看護師へご相談下さい。

【エンハーツ】

[間質性肺疾患]呼吸困難、から咳、発熱

[骨髄抑制]貧血、発熱、出血傾向（鼻血、歯ぐきの出血、皮下出血など）

[インフュージョンリアクション]呼吸困難、意識障害、まぶた・唇・舌の腫れ、発熱、寒気、嘔吐、咳、めまい、動悸

◎ 上記のほかにも副作用が現れることがあります。

他にもからだの異常を感じたら、主治医や薬剤師、看護師に相談してください。